

実践に生きる発達診断をめざして

教育と保育のための 発達診断セミナー

発達を学び子ども理解を深める in **和歌山**

日時

2018年10月28日(日) 10:00~16:30

受付 9:30~

会場

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 (和歌山市手平 2丁目 1-2)

JR和歌山駅よりバス(=中央口1番乗り場から)または徒歩15分
駐車場は50分100円(最初の30分無料)

全障研会員 4,000円 一般 6,000円



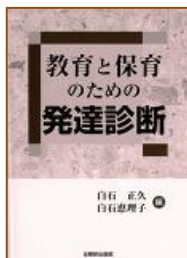
■講座1■ 白石恵理子
「1歳半の発達の質的転換期と
発達診断」
しらいし えりこ/滋賀大学



■講座2■ 服部敬子
「4、5歳の発達の姿と発達診断」
はっとり けいこ/京都府立大学



■講座3■ 楠凡之
「9~10歳の発達の姿と発達診断」
くすのき ひろゆき/北九州市立大学



* 本セミナーは『教育と保育のための
発達診断』(白石正久・白石恵理子 編
著 全障研出版部 A5判 272頁定価(本
体 2,800円+税))をテキストにしてい
ます。同書の執筆陣が講師です。
受講者は当日ご持参くださるよう願
いしています。

発達診断セミナーへのお誘い

白石正久

多くの場合、教育や保育における発達評価は、
テストを実施して「できたーできない」を判別
したり、発達年齢や発達指数を算出すること
にとどまっています。それは残念なことです。テ
ストは緊張を強いられるものですが、子ども
たちは、試行錯誤し失敗を重ねつつも、精一杯
に課題と向き合ってくれます。その過程の中
にある姿に、芽生え始めている大切な力や自
己変革の意志・感情が隠れています。

全国障害者問題研究会は、「発達診断」によ
って子どもが外界をどのように理解し、働き
かけ、取り込もうとするのかを明らかにする
研究をしてきました。そして、子どもに潜
む発達要求(できるになりたい、わかるよ
うになりたい、こんな人間になりたいとい
う願い)を把握し、発達要求ゆえに生じる
葛藤や矛盾をのりこえていくための支え
や手掛かりのありようを、実践によって
検討してきました。

子どもたち、障害のある人たちの発達保
障に携わっているみなさんが、さまざま
な行動のもつ発達の意味や、活動に潜
む発達要求を探求することの一助に、
このセミナーがなることを願います。

主催 NPO 法人 発達保障研究センター

〒169-0051 新宿区西早稲田 2-15-10

西早稲田関口ビル 4F 全障研気付

発達保障研究センター 電話 080-4332-2601

共催/全国障害者問題研究会・全国障害者問題研究会和歌山支部